



浦島伝説

カメ検ウィーク

詫間中学校は、素直な生徒が多く、体育祭や合唱コンクールなどの行事が盛り上がる学校として評判です。しかし、その一方で、基礎学力の定着や家庭学習の習慣化など、学習面に大きな課題があります。そこで、平成22年度から、全校一斉に「タートルノート」「カメ検」に取り組んできました。

「カメ検」とは、“カメ太郎検定”の略で、5教科の基礎的・基本的な問題を出題し、検定方式（「合格」「不合格」）で評価することにより、生徒は合格する喜びを味わうことができ、主体的に学ぼうとする意欲や態度を身につけることができると考えました。また、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけることは、カメのような着実な歩みに似ていることも、「カメ検」と名付けた所以です。そして、右のようなカメ検ファイルを作成し、生徒たちに配布しています。

今年は、“カメ検ウィーク”として定期テスト前に集中して行い、その一部を定期テストと関連させることで、カメ検だけでなくテストに対しても意欲的に取り組んでもらおうと考えました。早速、今週月曜日から、朝の時間を利用して実施しています。5教科連続合格を目指してがんばってください。



先生方も勉強しています

生徒は「タートルノート」「カメ検」などにがんばっていますが、一番大切なのはやはり「授業」です。そこで、先生方も定期的に研究授業を行うなど、互いに切磋琢磨しながらがんばっています。そして、先日第1回目の校内研究授業があり、各学年1クラスずつが残って特別授業を受けました。

1年1組は、鈴木章子先生が数学の授業を行いました。同じ長さの棒を使って正方形を作るとき、100個の正方形を作るには何本の棒が必要かを、式を作って考える授業でした。生徒たちは班ごとに話し合うなど積極的に活動し、文字を使って式を表すことのよさを学習しました。

2年2組は、大倉敦子先生が道徳の授業を行いました。「あるピエロの物語」という資料を使って、真の友情を築くためにはどうすればいいかを考えました。二人の登場人物のそれぞれ立場に立って、自分の考えを発表することができました。

3年2組は、矢野香先生が英語の授業を行いました。3枚の絵を見て、思いつく内容を英語で表現してみようという学習課題で、自分が作った英作文を実際に先生方の所へ行って聞いてもらいました。これまで学習した重要文を使い、かなり高度な英作文が作れていました。さすが3年生です。



1年1組



2年2組



3年2組

学校代表

- 6月5日、高瀬中学校で三豊地区中学校「社会を明るくする運動」弁論大会が行われました。本校からは山下憂記君が出演し、「地域の清掃活動に参加して」というタイトルで、経験をもとに自分の考えや思いを堂々と発表しました。
- 6月7日、三豊市「よい歯の審査会」が行われ、本校からは、宮崎隆聡君と大森美波さんが出演しました。大森さんは2位、宮崎君は優秀に選ばれました。